

第1部 海洋のこの1年

平成27年度以降、我が国においては、様々な海洋に関する話題がありました。ここでは、その主なものをトピックスとして紹介します。

1 海底広域研究船「かいめい」の命名・進水式

(1) 概要

海底広域研究船「かいめい」(以下、「かいめい」)は、国立研究開発法人海洋研究開発機構が発注し、三菱重工業株式会社が平成24年度より建造を進めてきました。「かいめい」は、地震探査システムによる海底下地殻構造探査、海底設置型掘削装置等による海底サンプリング調査、自律型無人探査機(AUV)の複数機運用や音響測深機などによる海底の精密調査により、我が国周辺海域に存在する海底資源など、海洋の広域にわたる科学調査を加速させることが期待される研究船です。



佳子内親王殿下の支綱ご切断
(提供:JAMSTEC/MHI)

(2) 命名・進水式

平成27年6月7日に三菱重工業株式会社下関造船所において、佳子内親王殿下の御臨席を賜り、命名・進水式が執り行われ、「かいめい」と命名されました。

一般公募による船名案の中から、応募基準の“海洋研究開発の新しい時代を切り拓いて行く”というイメージに合致し、深海を調査し深海底の謎を解明する海洋研究船として、この船名が選ばれました。



命名・進水式での様子(提供:JAMSTEC)



海底広域研究船「かいめい」(海上試験時)
(提供:JAMSTEC)

(3) 引き渡し

「かいめい」は平成28年3月30日に同社の下関造船所において海洋研究開発機構に引き渡されました。

平成28年度中に調査観測機器の試験や訓練を実施し、平成29年度からの調査研究航海に備える予定です。